

令和4年6月1日(水)～令和4年6月29日(水) (計5日間7.5時間)

〈講座概要〉

デジタル化・グローバル化の凄まじい進展，超高齢化の進行等に伴い，わが国でも従来とは異なる対応が様々な場面で求められている。法学もちろん例外ではなく，民法法学に限っても，様々な立法・改正がなされ（「第三の法制改革期」とも称される），また裁判所でも新たな法的判断が続々と示されている。本講座は，民法法学を専攻する教員がそれぞれ具体的場面を想定し，こうした新潮流の一端を解説しようとするものである。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	大学生 ・ 一般
◆実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第3学習室
◆受講料	6,300円
◆その他	
◆申込期限	令和4年5月18日(水)

◆講座内容

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	6月1日(水)	18:30～20:00	不法行為法の新潮流－超高齢化社会における新たな問題	橋口 賢一	経済学部・教授
2	6月8日(水)		時効法の新潮流	香川 崇	経済学部・教授
3	6月15日(水)		電子消費者取引規制の新潮流	森嶋 秀紀	経済学部・准教授
4	6月22日(水)		金融取引法の新潮流－金融の溶け込み化	平野 真由	経済学部・教授
5	6月29日(水)		契約法の新潮流－受信料を巡る法的紛争	橋口 賢一	経済学部・教授

〈備考〉

・県民カレッジ単位…5単位

★講座のキーワード★

金融取引，時効，電子消費者取引，不法行為，放送法